

様式10

平成30年度 政務活動費支出明細書

会派又は議員名 公明党

科 目	支 出 日	内 容	金 額
研修費	4月24日	自治体政策研究会 第1回	11,430
	7月5日	第49回 教育委員会対象セミナー	1,280
	7月10日	第1回 あすのば地方議員フォーラム	6,176
	7月11日	一般社団法人 マニフェスト研究会	33,360
	7月12日	一般社団法人 マニフェスト研究会	3,360
		合 計	55,606

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	平成30年 4月 24日				
場 所	図書館流通センター本社（文京区大塚3-1-1）				
相 手 方	図書館総合研究所				
参加者氏名	大沢純一				
目的・内容 結果 等	自治体政策研究会 第1回「自治体経営と内部統制—①内部統制の基本」 講師：宮脇敬（北海道大学大学院法学研究科・公共政策大学院教授） 第1回として「自治体行政における内部統制の考え方」について講義。 平成29年6月9日に公布された改正地方自治法により、都道府県知事及び指定都市の市長は、内部統制に関する方針を定め、これに基づき必要な体制を整備（その他の市町村長は努力義務）する、とされ平成32年4月1日から施行される。この内部統制の考え方について講義。				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
		図書館流通センター本社	JR 東京メトロ	立川<-->茗荷谷	1,430円
					円
					円
					円
		参加費 (会費・負担金等)	内訳：講座参加費		10,000円
		そ の 他	内訳：		円
		内訳：		円	
		内訳：		円	
	合 計			11,430円	

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

No.1804-112

領収書

公明党様

金 10,000 円 (消費税込み)

但し、セミナー参加費として
(自治体政策研究会 第1回「自治体経営と内部統制-①内部統制の基本」
平成30年4月24日開催)

平成30年4月24日

株式会社図書館総合研究所

東京都文京区塚本三丁目1番1号

代表取締役社長 小澤 嘉謙

様式4

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	平成30年 7月 5日				
場 所	第一ホテル両国				
相 手 方	教育家庭新聞社				
参加者氏名	高口 靖彦				
目的・内容 結果 等	第49回教育委員会対象セミナー ICT機器の活用と管理、研修				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額	
	交 通 費	第一ホテル両国	JR	立川<-->両国	1280 円
					円
					円
					円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳:			円
	そ の 他	内訳:			円
		内訳:			円
		内訳:			円
合 計				1280 円	

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	平成30年 7月 10日			
場 所	国立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区代々木神園町3-1）			
相 手 方	公益社団法人あすのば			
参加者氏名	大沢純一			
目的・内容 結果等	自治体ですすめる子どもの貧困対策「第1回あすのば地方議員フォーラム」 平成26年1月に施行された「子どもの貧困対策の推進に関する法律（子どもの貧困対策法）」のもと、同年8月に「子どもの貧困対策に関する大綱」が閣議決定された。大綱の「基本的な方針」で『当面今後5年間の重点施策を掲げ』とされており、今後大綱の見直しが予定されている。そうした状況を受け、現場の取り組みや先進事例などとともに、内閣府からの交付金活用事例などを聞いた。			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
	交 通 費	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	JR・小田急線	立川駅⇄ 参宮橋駅
	交 通 費			1,176 円
	交 通 費			円
	交 通 費			円
	交 通 費			円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：講座参加費		
そ の 他	内訳：			円
そ の 他	内訳：			円
そ の 他	内訳：			円
合 計				6,176 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

領 収 証

No.18012

2018年 7月 10日

公明党 / 様

¥5,000-

但し:「第1回地方議員フォーラム」参加費として

公益財団法人 あすのぼ

代表理事 小河 光

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6階
TEL:03-6277-8199 FAX:03-6277-8519

様式4

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	平成30年 7月11日				
場 所	早稲田大学大隈記念講堂大講堂				
相 手 方	一般社団法人マニフェスト研究会				
参加者氏名	福島正美、高口靖彦、瀬順弘				
目的・内容 結果 等	全国地方議会サミット2018 議会のチカラで日本創生 (初日)				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費 ○研修費・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
		早稲田大学 大隈講堂	JR	立川<-->中野	2340 円
		早稲田大学 大隈講堂	東西線	中野<-->早稲田	1020 円
					円
				円	
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：参加費			30000 円
	そ の 他	内訳：振込手数料			432 円
		内訳：			円
		内訳：			円
合 計				33360 33792 円	

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

領 収 書

公明党 様

¥ 10,000

但：「全国地方議会サミット2018」参加費として

2018年7月11日

一般社団法人マニフェスト研究会
ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1
日本橋一丁目三井ビルディング
電話：03-6214-1315



政務活動費領収書等貼付用紙

領収書

公明党様

¥ 10,000

但：「全国地方議会サミット2018」参加費として

2018年7月11日

一般社団法人マニフェスト研究会
ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1
日本橋一丁目三井ビルディング
電話：03-6214-1315



領収書

公明党 様

¥ 10,000

但：「全国地方議会サミット2018」参加費として

2018年7月11日

一般社団法人マニフェスト研究会
ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1
日本橋一丁目三井ビルディング
電話：03-6214-1315

様式4

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	平成30年 7月12日				
場 所	早稲田大学大隈記念講堂大講堂				
相 手 方	一般社団法人マニフェスト研究会				
参加者氏名	福島正美、高口靖彦、瀬順弘				
目的・内容 結果 等	全国地方議会サミット2018 議会のチカラで日本創生 (2日目)				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	
	交	早稲田大学 大隈講堂	JR	立川<-->中野	
	通	早稲田大学 大隈講堂	東西線	中野<-->早稲田	
	費			2340円	
				1020円	
				円	
				円	
		参加費 (会費・負担金等)	内訳:		円
		そ の 他	内訳:		円
		内訳:		円	
		内訳:		円	
	合 計			3360円	

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

全国地方議会サミット 2018 議会のチカラで日本創生

1. 研修先

日時：平成30年7月11日（水） 13:00～17:30

12日（木） 9:30～16:00

場所：早稲田大学大隈記念講堂大講堂（東京都新宿区戸塚町）

主催：ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟

2. 研修参加者 公明党 福島正美、高口 靖彦、 瀬 順弘

3. 研修内容

【プログラム】

○基調講演「地方議会から日本を変える」 北川正恭 早稲田大学名誉教授

○特別講演「地方創生の展望」 安田充総務次官（野田聖子総務大臣代理）

○講演・ディスカッション「真の地方創生とは何か」

片山善博 早稲田大学教授／大西一史 熊本市長／北川正恭 早稲田大学名誉教授

○課題整理「地方創生時代に求められる議会力」 江藤俊昭 山梨学院大学教授

○パネルディスカッション「議会力強化のための、議会事務局の改革」

小林宏子羽村市議会事務局長／清水克士大津市議会局次長／

進行：千葉茂明 月刊『ガバナンス』編集長

○先進事例報告「地方創生をリードする議会へ」

目黒章三郎会津若松市議会議長／子籠敏人あきる野市議会議長／ピアンキ・アンソ

ニー 犬山市議会議長／川上文浩可児市議会議長／進行：廣瀬克哉 法政大学教授

○先進事例報告「政策を実現する議会へ」

尾崎大介 東京都議会議長／松本研 横浜市議会議長／議員提案条例による政策実現

○講演「海外の議会制度から議会の多様性を考える」 中林美恵子 早稲田大学教授

○パネルディスカッション「多様性ある議会に向けた実践と課題」

本間まさよ武蔵野市議会議長／岩永ひさか多摩市議会議長／白川静子茅ヶ崎市議

会議長／進行：中村健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

○提言・総括「政策型選挙の実現に向けて」 北川正恭 早稲田大学名誉教授、ほか

【概要と感想】

北川正恭早稲田大学名誉教授（元三重県知事）の「地方議会から日本を変える」と題した基調講演では、衆院議員から三重県知事に転身する際に、達成目標等を住民に約束する「マニフェスト」を初めて提唱したことを通し、議会の進化、善政競争の輪を広げていくべきであり、良いものは真似して取り入れていくべきと述べられました。

特別講演は野田聖子総務大臣の予定でしたが、急遽代理で安田充総務次官が「地方創生の展望」と題して講演され、自治体戦略 2040 構想研究会などについての話がありました。

片山善博早稲田大学教授（元鳥取県知事、元総務大臣）の講演では、「地方創生と地方議会の役割」と題して、地方創生が提唱されてからの4年間の成果はどうか、地方創生交付金で人口減少や若者の流出の歯止めに繋がったのか、国が考える様々な制度や交付金などを自治体や議会が、地域に視点をおいて具体的な取り組みを考えてこられたのか、などの問いかけを通して地方議会の役割を考える場となりました。

「震災復興と地方創生」と題した大西一史熊本市長の講演では、熊本地震の実体験を通して発災から復興に歩みだすまでを紹介され、その後の江藤俊昭山梨学院大学教授の課題整理では、災害時における議員の役割を一つのテーマとされ、議会力を発揮していくための平時の議会や議員としての対応をよく考えておく必要があると感じました。

パネルディスカッションでは議会事務局の方々が、どのように議員を見ているか、どのような思いで働いているかなど、なかなか聞くことのない本音も聞くことができました。

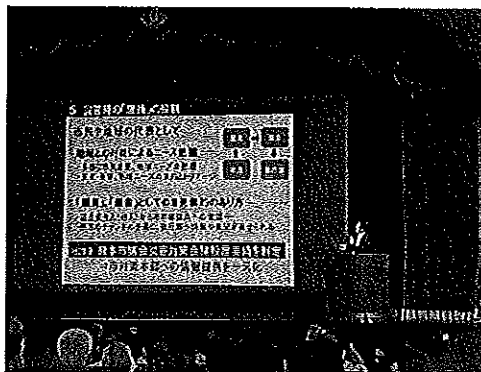
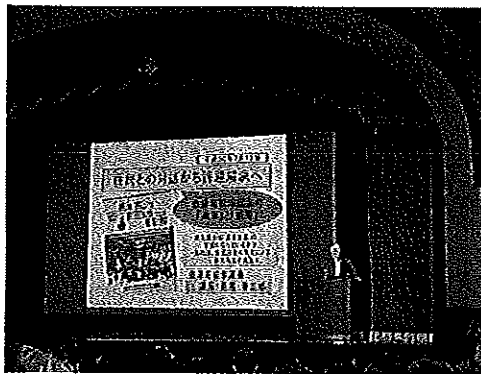
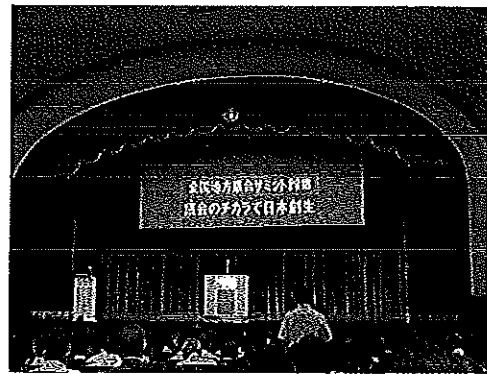
先進事例報告では、先進的な取り組みをしている議会の議長から、住民と一緒にするための取り組み、議会報改善の取り組み、本会議で常任委員会による代表質問、議場の市民フリースピーチ制度等、様々な紹介があり、どれも素晴らしい内容でした。

中林美恵子早稲田大学教授の「海外の議会制度から議会の多様性を考える」と題した講演では、日本の地方議会の二代表制はアメリカ大統領制と似ているところがあり、そのような視点での議会のあり方を考える機会となりとても興味深かったです。

二日目のパネルディスカッションでは、「多様性ある議会に向けた実践と課題」と題して3名の女性議長が登壇され、女性の社会進出についてや、議会における女性の視点についても興味深い話がありました。

2日間のサミットを通して、議会改革は、真剣に進めている議会と、そうでない議会で差がどんどん開いている感を強くし、立川市において住民のための議会としてもっと議会改革を進めていく必要を感じました。

4. 会場の様子



以上